	シラバス							
科目	名	こどもの指導法「環境」	担	1 当 :	者名	國分 啓子		
学 科	+	こども学科こども英語コース	扌	受業	方法	演習		
認定単	单位	1単位 開講期				授業時間数	36時間	
開講学	学年	2学年 必・選	選択	- 1				
授業目	目的	子どもは環境の中で様々な事象 保育内容「環境」のねらい及び内容 場面を想定して保育を構想する方	について理 法を身に付	里解を ける。	深めるとともん	こ、乳幼児の発達に	即して、具体的な指導	
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	保育における「環境」とは、こどもをである。保育者として、こどもの成長室の環境構成をするため、「環境」(発達を促す	一最適	[な「環境」を、	提供することができ		
授業棚	既要	た「物的環境」「人的環境」「自然環じめ思考力・創造力・想像力等を学	環境の中で生活している。それは家庭・地域社会・保育所・幼稚園・認定こども園でだ 的環境」「自然環境」「社会環境」の中で生きている。様々な生活経験を通し人格形力・想像力等を学んでいく。 本授業では、領域「環境」の意義と目的について理解しが環境と関わりながら好奇心、探求心を育み人間関係を形成しながら成長・発達し 利を上げながら学習していく。					
		授業内容				授業内容	\$	
	1	ガイダンス ・ 保育者の資質とは 保育者に あなたを取り巻く環境	こ必要なもの	19				
	2	環境とは(1) 環境という言葉、環境の定義		20				
	3	環境とは (2) 環境を通して行う保育の意	味	21				
	4	保育の基本と領域「環境」の位置づけ (1)	ねらいと内容	22				
	5	保育の基本と領域「環境」の位置づけ (2) 意点と指導計画、評価の考え方	指導上の留	23				
	6	身近な「環境」の構成(指導案の構成と作成)						
	7	子どもと人的環境との関わり(保育者・友だち・家族・地 或の人々)		25				
授	8	子どもと物的環境との関わり(遊具・園具・文	(字・数量)	26				
業計	9	子どもの自然環境との関わり(身近な自然・わり)	生き物との関	27				
画表	10	子どもと空間とのかかわり(室内あそび、保*	育形態)	28				
	11	子どもの空間とのかかわり(屋外遊び、保育	形態)	29				
	12	行事や地域環境との関わり・園外保育		30				
	13	保育における環境の重要性 (1)好奇心 (3) 思考力の芽生え	(2)探求心	31				
	14	子どもと環境・ 標識と図形、ものの性質と	の出会い	32				
	15	指導上の留意点・環境構成の在り方 · 子環境 · 安全管理 · 小学校との連携	どもの安全	33				
	16	子どもの遊びの世界における「3間」の意味 題	と保育の課	34				
	17	環境保護の大切さ(連鎖・循環・つながり・*	目互関係)	35				
	18	保育者の役割 環境構成 実際の保育室	デザイン	36				
		テスト	40%	学	習FB方法	前期•後期 成績表	: 送付	
成績害	削合	学習態度•出席率	30%		1. 5% A			
アベルメロ	7 🗖	レポート	30%	F			S90~100点 A80~ C60~69点 D59点	
		合計	100%		74/194H IIM	以下は不合格	230 36/M 230/M	
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》20% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%						外体感型学習≫10%		
講師プ		講義形式を基本とする。保育者になるこ し、支援する精神を理解できることを望 躍している。保育園と保育者そして保護	む。担当教員	員は都	内の保育園に	て園長を務め、現在も		

	シラバス								
科目名	名	音楽指導実技]	-	担	. 当 =	者名	西川 美岐		
学 承	4	こども学科こども芽	英語コース	技	受業ス	方法	演習		
認定單	単位	2単位	開講期				授業時間数	79時間	
開講学	学年	1学年	必・選	必選			12 未 时 间 数	【2时间	
授業目	目的		を修得し、1年間 <i>0</i> 歌いを修得する。		:の子	どもの歌や			
授業目 (ラーニ アウトカ.	ング	ピアノ演奏技術 多くの子どもの	を修得し、教育実 欧の弾き歌いがで	習や保育きる。	育現場での実践に対応できるよう				
授業棚	既要		次の弾き歌いを身	三手単音伴奏、コード伴奏)をすることができ、 につける。					
			授業内容				授業内容	3	
	1	オリエンテーション 英語音名、伴奏法(単	 至音伴奏、コード譜)説明		19	お辞儀のコート	* 季節の歌 9月 とんり	ェーー ぼのめがね	
	2	季節の歌 4月 チューリップ			20	秋の歌 どん 19の復習	ぐりころころ		
	3	季節の歌 4月 ちょう 2の復習	ちょ		0.1	秋の歌 大きな20の復習	栗の木の下で		
	4	季節の歌 4月 ぶん春の歌の復習	ぶんぶん		20	秋の歌 こぎつ 21の復習	ね(プリント)		
	5	4の復習	. 12.7		22	秋の歌 虫の声 22の復習	「(プリント)		
	6	季節の歌 めだかの学校 5の復習				後期小テスト1			
	7	季節の歌 6月 かた 6の復習	つむり		25	季節の歌 10月 きのこ			
授	8	小テスト1			26	季節の歌 10月 焼き芋グーチー	パー		
業計	9	かえるのうた				李節の歌 11月 まつぼっくり 25の復習			
画 表	10	かえるのうた(ピアノで	輪唱)		28	季節の歌 11月 27の復習	まつぼっくり		
	11	むすんでひらいて 10の復習			29	季節の歌 11月 28の復習	たき火		
	12	とけいのうた 11の復習			30	天笠の歌 19日 ちゃてたばるのおいねカローフ			
	13	季節の歌 6月 ある 12の復習	うふりくまのこ		31	季節の歌 12月] ジングルベル		
	14	アイアイ 13の復習			32	季節の歌 1月	お正月		
	15	季節の歌 7月 たな 14の復習	ばたさま		33	コンコンクシャン	/の歌		
	16	15の復習			34	季節の歌 2月	まめまき		
	17	季節の歌 おばけな/ 16の復習	してないさ		35	季節の歌 ゆき			
	18	小テスト2			36	小テストとまとめ)		
		テスト		40%	严	習FB方法	toomaのファノル 手向	両社併用して労ど	
成績害	訓合	学習態度・出席	率	60%	子	日FB万法	teamsのファイル動車	剄でπ用して子み。	
以和其古	n) 🗖	レポート		0%	F	戈績評価	出度家900/ P/ L ±	受業態度を重視する。	
		合計		100%		人//貝 市 一川山	山州平00 /0以上、1	メポ忠反と里忧りる。	
P/R/A/0	P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》80 R《実働実践型学習》60 A《主体的参加型学習》80 G《海外体感型学習》60			型学習≫60					
講師プロ フィール 音大卒業後、海外の音大に留学をして、音楽教育を学びリトミック指導の資格を取得し 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。									

				シラ	バ	ス		
科目	名	こどもの指導法	「リズム表現」	担	1.当 ==	者名	西川 美岐	
学科	+	こども学科こども芽	英語コース	ł	受業ス	方法	演習	
認定単開講等		1単位 1学年	開講期 必・選	選択			授業時間数	36時間
授業目				な知識や	技術を	を表現「領域	」 〕から見出し保育打	L 旨導法を修得してい
授業 F (ラーニ アウトカ.	ング	表現に関する知	識や保育技術の	習得と実	践を认	通した人間オ	刀の育成を目指す。	
授業棚	既要		P容を主軸とし、子 ついての理論と第			表現につい	、 てその意義、効果	的な指導法、使用教
		授業内容					授業内容	\$
	1	領域「表現」について いての説明	の基本的な考え方とリト	ミックにつ	19			
	2	ダルクローズ、オルフ	、創造的音楽つくりにつ	ついて	20			
	3		る、回る、走るなどの身份		21			
	4	基礎リズム2 リズムパターンの理解とそれに伴う身体表現			22			
	5	基本動作1 基本動作の実践 基本動作2 基本動作の復習と幼児のイメージを豊かに			23			
	6	する指導法			24			
	7	童謡やわらべうたについての多様な振り付けの実践1			25			
授 業	8	童謡やわらべ歌についての多様な振り付けの実践2						
計画	9	英語の子どもの歌の振り付けと実践			27			
表	10	楽器の取り扱いとオリ	ジナル楽器の製作		28			
	11	オノマトペについての	身体表現の実践		29			
	12	ボディーパーカッシ	ョンについての実践		30			
	13	ボディーパーカッショ		₩	31			
	14	ての模擬保育の実践		友別につい	32			
		クリスマスソングに合む 絵本のストーリーを取	っせて身体表現 り入れた身体表現の実	践幼児が持	33			
	16	つ表現への意	意欲と喜びを育むリズ		34			
		介と創作	擬保育の実践と振り返		35 36			
	10		機体目の夫成と振り返		30			
		学習態度・出席	率	30パーセント	学	習FB方法		
成績害	削合	レポート		20パーセント		₽ 〈車 封示 / IT*		基本とする。グループ
合計 成績評価 ワークの参加状況も合わせて判断す格は60点以上。				合わせ(判断する。合				
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	业学習≫60	A≪∄	E体的参加型学·	習≫80 G≪海外体感	型学習≫60
講師プロ 音大卒業後、海外の音大に留学をしリトミック指導の資格を取得している。 フィール 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。								

				シラ	バ	ス		
科目	名	音楽表現論		担	当	者名	西川 美岐	
学科	4	こども学科こども	英語コース	ł	受業プ	方法	演習	
認定單		1単位	開講期	前期			授業時間数	36時間
開講学	学年	1学年	必・選	選択				
授業目	目的	感性と表現に関	する領域「表現」を	を学び専門	門的夠	印識を身につ	つける。	
授業 l (ラーニ アウトカ.	ング	音楽表現指導は	こ関する専門的知	識、環境	構成	を学び、また	レポート作成を完成	式する。
授業棚	既要						な感性や表現する 楽知識を身につける	
			授業内容				授業内容	<u> </u>
	1	音楽表現論をとおして	て学ぶこと 科目ガイダン	/ス	19			
	2	領域「表現」の理解と 程	音楽表現における乳幼	児の発達過	20			
	2 程 音楽表現に必要な音楽要素の理解と乳幼児の発達 伴う声域についての理解		の発達に	21				
	4	の採り入れ方、またそ	はどういうものか?サウン このイメージを表現するた		22			
	5	理解 音楽理論の基礎知識1(五線譜記譜法、音部記号、音 名)			23			
	6	音楽理論の基礎知識2(音符と休符、拍子とリズム)			24			
	7	レポート作成の手引き						
授	8	レポート指導			26			
業計	9	レポート指導			27			
画表	10	レポート指導			28			
	11	1年間に行事や歌われ 代の歌についての分	れる幼児楽曲と童謡、お 析	らべ歌と現	29			
	12	日本の童謡、子どもの	の歌の時代に視点をおい	た分析	30			
	13	音楽理論の基礎知識	銭3(音程、調、和音、コー	-ドネーム)	31			
	14	音楽理論の基礎知識	銭4(速度記号と標語のま	(とめ)	32			
	15	リズムと拍子 拍、の領	実践		33			
	16	保育実践における豊 あり方	かな表現を引き出すたと	めの援助の	34			
	17	科目試験対策			35			
	18	科目試験対策			36			
		テスト		40%	学	習FB方法		アイルも補足で共用。五 小て音楽理論の基礎
成績害	割合	学習態度·出席	率	30%	7,		知識を身につける。	1、 、日本在間の金姫
, , , , , ,		レポート		30%	万			ンポート課題、科目試験
		合計		100%			の合格は60点以上	
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》80 R《実働実践型学習》60 A《主体的参加型学習》80 G《海外体感型学習》60			型学習≫60					
講師プ		音大卒業後、海外の ク指導を行っている		音楽教育を	学び	、リトミック指導	の資格を取得して日本	ぶでも、ピアノ指導、リトミ ッ

				シラ	バ	ス		
科目	名	社会福祉論		担	1 当 =	者名	津村 恵子	
学科	+	こども学科こども	英語コース	ł	受業ス	方法	講義	
認定單	单位	2単位	開講期	前期			授業時間数	36時間
開講学	学年	1学年	必・選	選択			及朱列的数	00m() [H]
授業目	目的	保育士として必	要な社会福祉に関	員する知 語	哉を学	び、考察力	を養う	
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	現代社会におり 法等について学		義•役割を	2理解	乳、子どもと	その家庭を支援す	てる視点から、制度・方
授業棚	既要	基本的知識を請 日的課題につい		具体的事	例を月	用いたワーク	7及びディスカッショ	コンを通し、福祉の今
			授業内容				授業内容	3
	1	社会福祉とは ~身i	丘な問題から福祉を考え	 ::る	19			
	2	社会福祉の理念・基準	本的人権		20			
	3	日本における貧困問	題(子どもの貧困)①		21			
	4	日本における貧困問	題(子どもの貧困)②		22			
	5	社会福祉の相談援助(ソーシャルワーク①						
	6	社会福祉の相談援助	1(ソーシャルワーク)②		24			
	7	レポート作成の手引き①						
授	8	レポート作成の手引き	£2		26			
業計	9	レポート指導			27			
画表	10	障害者福祉			28			
	11	共生社会とインクルー	-シヴ保育		29			
	12	女性の社会参加につ	いて 現状と課題		30			
	13	高齢者福祉			31			
	14	社会福祉における利	用者保護に関わる仕組	み	32			
	15	子どもの人権			33			
	16	社会福祉の専門職			34			
	17	社会福祉の動向と課	題		35			
	18	科目試験			36			
		テスト		40%	学	習FB方法	授業内に振り返り時と、質問事項などを	計間を設け、学習したこ 記入し提出
成績害	削合	学習態度・出席	率	30%	,		次授業時に必要内	容をクラスで共有する
		レポート		30%		 找績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~	
合計 100% C60~69点 D59点以下は不合格			点以下は不合格					
P/R/A/G割合 P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫			感型学習≫					
講師プロ フィール 障害児者施設勤務経験があり、地域の障がい児者支援活動等に尽力している。								

				シラ	ノヾ	ス			
科目名	名	こども家庭福祉		担	出当	者名	津村 恵子		
学 承	+	こども学科こども	英語コース	ł	受業ス	方法	講義		
認定単	单位	2単位	開講期	後期			授業時間数	26時間	
開講学	学年	1学年	必・選	選択			10 米 刊 间 数	2044 [tt]	
授業目	目的	保育士として必	要な「こども家庭福	畐祉」に関	するタ	5知識を学び、考察力を養う ・理解し、子どもの人権、こども家庭福祉の意義、名			
授業目 (ラーニ アウトカ.	ング	割、制度や関係	ける子どもを取り巻 機関の実施体制 民庭福祉の現状と	について:	学習	する。	もの人権、こども家	庭福祉の意義、役	
授業概	既要						を用いた個人ワーク 育士の視点から考察	ク及びディスカッション 客していく.	
			授業内容				授業内容	3	
	1	現代社会における子	どもを取り巻く社会状況	.①	19				
	2	現代社会における子	どもを取り巻く社会状況	.2	20				
	3	こども家庭福祉の理念	1		21				
	4	こども家庭福祉の理念	2		22				
	5	子どもの権利 人権擁護と課題			23				
	6	レポート作成の手引き			24				
	7	レポート指導			25				
授	8	こども家庭福祉の制度	度と実施体制		26				
業計	9	児童福祉に関する機	関と専門職		27				
画表	10	児童福祉施設と専門	職		28				
	11	こどもの虐待について	Ī		29				
	12	障がいのある子ども~	の対応		30				
	13	少年非行などへの対	応		31				
	14	社会的養護			32				
	15	貧困家庭、ひとり親家	庭など、様々な家庭へ	の対応	33				
	16	母子保健と子どもの依	建全育成		34				
	17	多様な保育ニーズ 地域の子育て支援			35				
	18	科目試験			36				
		テスト		40%	学	習FB方法	授業内に振り返り時と、質問事項などを	詳問を設け、学習したこ 記入し提出	
成績害	訓合	学習態度•出席	率	30%	7		次授業時に、必要に		
/%/// 日	111	レポート		30%	F	 找績評価	出席率80%以上 S90-100点 A80-	-89点 B70-79点 C	
合計成績評価S90-100点 A80-89点 B70-79点 C 60-69点 D59点以下は不合格									
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習≫50% R《実働実践型学習≫ A《主体的参加型学習≫50% G《海外体感型学習≫			感型学習≫						
講師プロ フィール 障害児者施設勤務経験あり、地域の障がい児者支援に尽力している									

	シラバス						
科目	名	こどもの指導法「環境」	担	1.当	者 名	國分 啓子	
学 科	+	こども学科こども音楽コース	ł	受業プ	方法	演習	
認定単	单位	1単位 開講期				授業時間数	36時間
開講学	学年	2学年 必・選	選択	len d	64 HEAR F 10		
授業目	目的	子どもは環境の中で様々な事象! 保育内容「環境」のねらい及び内容 場面を想定して保育を構想する方	₹について理 法を身に付	里解を ける。	深めるとともん	こ、乳幼児の発達に	即して、具体的な指導
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	保育における「環境」とは、こどもである。保育者として、こどもの成長 室の環境構成をするため、「環境」	発達を促す	-最適	[な「環境」を、	提供することができ	
授業棚	既要	た「物的環境」「人的環境」「自然環じめ思考力・創造力・想像力等を学	々な環境の中で生活している。それは家庭・地域社会・保育所・幼稚園・認定こども園で 近」「人的環境」「自然環境」「社会環境」の中で生きている。様々な生活経験を通し人格形 創造力・想像力等を学んでいく。 本授業では、領域「環境」の意義と目的について理解 こどもが環境と関わりながら好奇心、探求心を育み人間関係を形成しながら成長・発達し 的事例を上げながら学習していく。				
		授業内容				授業内容	3
	1	ガイダンス ・ 保育者の資質とは 保育者 あなたを取り巻く環境	に必要なもの	19			
	2	環境とは(1) 環境という言葉、環境の定	義	20			
	3			21			
	4	保育の基本と領域「環境」の位置づけ (1)	ねらいと内容	22			
	5	保育の基本と領域「環境」の位置づけ (2) 意点と指導計画、評価の考え方	指導上の留	23			
	6	身近な「環境」の構成(指導案の構成と作品	戈)	24			
	7	子どもと人的環境との関わり(保育者・友だ域の人々)	ち・家族・地	25			
授	8	子どもと物的環境との関わり(遊具・園具・コ	文字・数量)	26			
業計	9	子どもの自然環境との関わり(身近な自然・わり)	生き物との関	27			
画 表	10	子どもと空間とのかかわり(室内あそび、保	育形態)	28			
	11	子どもの空間とのかかわり(屋外遊び、保育	f形態)	29			
	12	行事や地域環境との関わり・園外保育		30			
	13	保育における環境の重要性 (1)好奇心 (3) 思考力の芽生え	(2)探求心	31			
	14	子どもと環境・ 標識と図形、ものの性質と	この出会い	32			
	15	指導上の留意点・環境構成の在り方 ・ 子環境 ・ 安全管理 ・ 小学校との連携	子どもの安全	33			
	16	子どもの遊びの世界における「3間」の意味 題	と保育の課	34			
	17	環境保護の大切さ(連鎖・循環・つながり・	相互関係)	35			
	18	保育者の役割 環境構成 実際の保育室	デザイン	36			
		テスト	40%	学	習FB方法	前期・後期 成績表	
成績害	削合	学習態度・出席率	30%				
		レポート	30%	J.	 成績評価	B70~79点 C60~	90~100点 A80~89 69点 D59点以下は不
D/P/4 /	744 A	合計	100%	20/	A // -> Hall +> 1-	<u>合格</u>	· A 14-15-121 / 4 / 0 / 1
P/R/A/(講師: フィー	プロ	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実 講義形式を基本とする。保育者になる し、支援する精神を理解できることを望 躍している。保育園と保育者そして保語	む。担当教員	子育て 員は都	家庭への支援 内の保育園に	て園長を務め、現在も	持つ悩みを、ともに共有

	シラバス								
科目	名	音楽指導実技I		担	当	者名	西川 美岐		
学科	4	こども学科こども音	音楽コース	1	受業ス	方法	演習		
認定單	单位	2単位	開講期				授業時間数	72時間	
開講学	学年	1学年	必・選	必選			12 /K · 1 14 //	12.3103	
授業目	目的		を修得し、1年間の 歌いを修得する。		:の子	どもの歌や			
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	ピアノ演奏技術 多くの子どもの部	を修得し、教育実 次の弾き歌いがで	習や保育きる。	R育現場での実践に対応できるよう				
授業棚	既要		次の弾き歌いを身						
			授業内容				授業内容	3	
	1	オリエンテーション 英語音名、伴奏法(単	音伴奏、コード譜)説明		19	お辞儀のコート	・季節の歌 9月 とんり	ぼのめがね	
	2	季節の歌 4月 チューリップ	т на / нису	<u>. </u>	20	秋の歌 どん 19の復習	ぐりころころ		
	3	季節の歌 4月 ちょう 2の復習	ちょ		0.1	秋の歌 大きな 20の復習	栗の木の下で		
	4	季節の歌 4月 ぶん 春の歌の復習	ぶんぶん		20	秋の歌 こぎつ 21の復習	ね(プリント)		
	5	季節の歌 5月 こいの 4の復習	りぼり		22	秋の歌 虫の声 22の復習	「(プリント)		
	6	季節の歌 めだかの学校 5の復習				後期小テスト1			
	7	季節の歌 6月 かた 6の復習	つむり		25	季節の歌 10月 きのこ			
授	8	小テスト1			26	季節の歌 10月 焼き芋グーチー	-パー		
業計	9	かえるのうた				李節の歌 11月 まつぼっくり 25の復習			
画 表	10	かえるのうた(ピアノで	輪唱)		28	季節の歌 11月 27の復習	まつぼっくり		
	11	むすんでひらいて 10の復習			29	季節の歌 11月 28の復習	たき火		
	12	とけいのうた 11の復習			30	季節の歌 12月 29の復習	あわてんぼうのサンタク	クロース	
	13	季節の歌 6月 あめ 12の復習	うふりくまのこ		31	季節の歌 12月] ジングルベル		
	14	アイアイ 13の復習			32	季節の歌 1月	お正月		
	15	季節の歌 7月 たなり 14の復習	ばたさま		33	コンコンクシャン	/の歌		
	16	季節の歌 キラキラ星 15の復習			34	季節の歌 2月	まめまき		
	17	季節の歌 おばけなん 16の復習	してないさ		35	季節の歌 ゆき			
	18	小テスト2			36	小テストとまとめ)		
		テスト		40%	774	習FB方法	toomaのファノッチ	面と併用して学ど	
成績害	訓合	学習態度•出席	率	60%	子	日口刀伍	teamsのファイル動車	剄ひ川 用しく子ぶ。	
沙人小只百		レポート		0%	F	戈績評価	出席率80%以上 *	受業態度を重視する。	
		合計		100%)4	人// 東日 四	四///1 中00 /0 8 工、]	文米心及と重加する。	
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習ご	≫80 R≪実働実践型	学習≫60	A≪∄	体的参加型学	習≫80 G≪海外体感到	型学習≫60	
講師プロ 音大卒業後、海外の音大に留学をして、音楽教育を学びリトミック指導の資格を取得し 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。									

				シラ	バ	ス		
科目	名	こどもの指導法	「リズム表現」	担	1.当 ==	者名	西川 美岐	
学 承	+	こども学科こども習	音楽コース	ł	受業ス	方法	演習	
認定單開講等		1単位 1学年	開講期 必・選	選択			授業時間数	36時間
授業目				な知識や	技術を	を表現「領域	」 〕から見出し保育打	L 旨導法を修得してい
授業 F (ラーニ アウトカ.	ング	表現に関する知	識や保育技術の	習得と実	践を认	通した人間力	刀の育成を目指す。	
授業棚	既要		Y容を主軸とし、子 ついての理論と9			表現につい	、 てその意義、効果	的な指導法、使用教
		授業内容					授業内容	\$
	1	領域「表現」について いての説明	の基本的な考え方とリト	ミックにつ	19			
	2 ダルクローズ、オルフ、創造的音楽つくりに		、創造的音楽つくりにつ	ついて	20			
	3		る、回る、走るなどの身体		21			
	4	基礎リズム2 リズムパターンの理解とそれに伴う身体表現			22			
	5	基本動作1 基本動作の実践 基本動作2 基本動作の復習と幼児のイメージを豊かに			23			
	6	する指導法			24			
	7	童謡やわらべうたについての多様な振り付けの実践1			25 26			
授 業	8	童謡やわらべ歌についての多様な振り付けの実践2						
計画	9	英語の子どもの歌の打	辰9付けと実践		27			
表	10	楽器の取り扱いとオリ	ジナル楽器の製作		28			
	11	オノマトペについての	身体表現の実践		29			
	12	ボディーパーカッシ	ョンについての実践		30			
	13	ボディーパーカッショ		受出さのい	31			
	14	ての模擬保育の実践		欠切パニ゚ フレ `	32			
		クリスマスソングに合え 絵本のストーリーを取	つせて身体表現 リ入れた身体表現の実	践幼児が持	33			
	16	つ表現への意	意欲と喜びを育むリズ		34			
		介と創作	極保育の実践と振り返 「機保育の実践と振り返		35			
	18		※灰体 月 ツ 天 政 と 依 り 返		36			
		学習態度・出席	 率	30パーセント	学	習FB方法	前期・後期 成績表	送付
成績害	門合	レポート		20パーセント	F			基本とする。グループ 合わせて判断する。 合
合計 100% 格は60点以上。) ロック C < [1][P]			
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	世学習≫60	A≪∄	体的参加型学	習≫80 G≪海外体感	型学習≫60
講師プロ 音大卒業後、海外の音大に留学をしりトミック指導の資格を取得している。 フィール 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。								

				シラ	ノヾ	ス			
科目	名	こども家庭福祉		担	出当	者名	津村 恵子		
学 科	+	こども学科こども言	音楽コース	ł	受業ス	方法	講義		
認定單	单位	2単位	開講期	後期			授業時間数	26時間	
開講学	学年	1学年	必・選	選択			10 米 刊 间 数	2044 [tt]	
授業目	目的	保育士として必	要な「こども家庭福	畐祉」に関	するタ	知識を学び、	考察力を養う		
授業 F (ラーニ アウトカ.	ング	割、制度や関係	ける子どもを取り巻 機関の実施体制 足庭福祉の現状と	について:	学習	する。	もの人権、こども家	庭福祉の意義、役	
授業棚	既要						を用いた個人ワーク 育士の視点から考察	ク及びディスカッション 客していく.	
			授業内容				授業内容		
	1	現代社会における子	どもを取り巻く社会状況	.①	19				
	2			.2	20				
	3	こども家庭福祉の理念	1		21				
	4	こども家庭福祉の理念	à ②		22				
	5	子どもの権利 人権擁護と課題			23				
	6	レポート作成の手引き			24				
	7	レポート指導			25				
授	8	こども家庭福祉の制度と実施体制			26				
業計	9	児童福祉に関する機	関と専門職		27				
画表	10	児童福祉施設と専門	職		28				
	11	こどもの虐待について	Ī		29				
	12	障がいのある子ども~	の対応		30				
	13	少年非行などへの対	応		31				
	14	社会的養護			32				
	15	貧困家庭、ひとり親家	『庭など、様々な家庭へ	の対応	33				
	16	母子保健と子どもの依	建全育成		34				
	17	多様な保育ニーズ 地域の子育て支援			35				
	18	科目試験			36				
		テスト		40%	半	習FB方法	授業内に振り返り時と、質問事項などを	計間を設け、学習したこ 記 A 1 提出	
成績害		学習態度•出席	率	30%	子	日口刀伝	次授業時に、必要に		
<i>P</i> 入/ 侧 百	11 🗖	レポート		30%	F	─ ───	出席率80%以上 S90-100点 A80-		
成績評価 S90-100点 A80-89点 B70-79点 (合計 100% 60-69点 D59点以下は不合格									
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》50% G《海外体感型学習》			感型学習≫						
講師プロ 障害児者施設勤務経験あり、地域の障がい児者支援に尽力している フィール									

				シラ	バ	ス		
科目	名	音楽表現論		担	当	者名	西川 美岐	
学 科	4	こども学科こども言	音楽コース	ł	受業ス	方法	演習	
認定單	単位	1単位	開講期	前期			授業時間数	36時間
開講学	学年	1学年	必・選	選択			32 20 1 114 30	35. 1113
授業目	目的	感性と表現に関	する領域「表現」を	を学び専門	明的组	印識を身につ	つける。	
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	音楽表現指導は	工関する専門的知	識、環境	構成	を学び、また	レポート作成を完成	成する。
授業棚	既要						な感性や表現する 楽知識を身につける	
			授業内容				授業内容	7
	1	音楽表現論をとおして	て学ぶこと 科目ガイダン	/ス	19			
	2	領域「表現」の理解と音楽表現における乳幼児の発 程			20			
	2 程 音楽表現に必要な音楽要素の理解と乳幼児の発達 伴う声域についての理解		の発達に	21				
	4	の採り入れ方、またそ	はどういうものか?サウン のイメージを表現するた		22			
	5	理解 音楽理論の基礎知識1(五線譜記譜法、音部記号、音 名)			23			
	6	音楽理論の基礎知識2(音符と休符、拍子とリズム)			24			
	7	レポート作成の手引き						
授	8	レポート指導			26			
業計	9	レポート指導			27			
画表	10	レポート指導			28			
	11	1年間に行事や歌われ 代の歌についての分	れる幼児楽曲と童謡、わ 析	らべ歌と現	29			
	12	日本の童謡、子どもの)歌の時代に視点をおい	た分析	30			
	13	音楽理論の基礎知識	は(音程、調、和音、コー	-ドネーム)	31			
	14	音楽理論の基礎知識	は(速度記号と標語のま	(とめ)	32			
	15	リズムと拍子 拍、の領	実践		33			
	16	保育実践における豊 あり方	かな表現を引き出すたと	めの援助の	34			
	17	科目試験対策			35			
	18	科目試験対策			36			
		テスト		40%	学	習FB方法		ァイルも補足で共用。五 書いて音楽理論の基礎
成績害	割合	学習態度·出席	率	30%	7,		知識を身につける。	1、、日本在間7/全概
/ / 4/13X II		レポート		30%	万			ンポート課題、科目試験
		合計		100%			の合格は60点以上	
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》80 R《実働実践型学習》60 A《主体的参加型学習》80 G《海外体感型学習》60		型学習≫60						
講師プ		音大卒業後、海外の ク指導を行っている		音楽教育を	学び	、リトミック指導	の資格を取得して日本	ても、ピアノ指導、リトミッ

				シラ	バ	ス		
科目	名	社会福祉論		担	当	者名	津村 恵子	
学 科	+	こども学科こども言	音楽コース	ł	受業ス	方法	講義	
認定單	单位	2単位	開講期	前期			授業時間数	36時間
開講学	学年	1学年	必・選	選択			及朱列的数	00m() [H]
授業目	目的	保育士として必	要な社会福祉に関	員する知 語	哉を学	び、考察力	を養う	
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	現代社会におり 法等について学		義•役割を	2理解	すし、子どもと	その家庭を支援す	てる視点から、制度・方
授業概	既要	基本的知識を請 日的課題につい		具体的事	例を月	用いたワーク	7及びディスカッショ	コンを通し、福祉の今
			授業内容				授業内容	3
	1	社会福祉とは ~身i	丘な問題から福祉を考え	さる	19			
	2 社会福祉の理念・基本的人権			20				
	3	日本における貧困問	題(子どもの貧困)①		21			
	4	日本における貧困問	題(子どもの貧困)②		22			
	5	社会福祉の相談援助(ソーシャルワーク①						
	6	社会福祉の相談援助	1(ソーシャルワーク)②		24			
	7	レポート作成の手引き①						
授	8	レポート作成の手引き	£2		26			
業計	9	レポート指導			27			
画表	10	障害者福祉			28			
	11	共生社会とインクルー	-シヴ保育		29			
	12	女性の社会参加につ	いて 現状と課題		30			
	13	高齢者福祉			31			
	14	社会福祉における利	用者保護に関わる仕組	み	32			
	15	子どもの人権			33			
	16	社会福祉の専門職			34			
	17	社会福祉の動向と課	題		35			
	18	科目試験			36			
		テスト		40%	学	習FB方法	授業内に振り返り時と、質問事項などを	計間を設け、学習したこ 記入し提出
成績害	削合	学習態度・出席	率	30%	,		次授業時に必要内	容をクラスで共有する
		レポート		30%			出席率80%以上 S90~100点 A80~	
合計 100% C60~69点 D59点以下は不合格			点以下は不合格					
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》50% G《海外体感型学習》			感型学習≫					
講師プロ フィール 障害児者施設勤務経験があり、地域の障がい児者支援活動等に尽力している。								

	シラバス									
科目名	名	こどもの指導法「雰	環境」	担	. 当 =	者名	國分 啓子			
学 科	+	こども学科こどもスポ	ポーツコース	ł	受業ス	方法	演習			
認定単	单位	1単位	開講期				授業時間数	36時間		
開講学	学年	2学年		選択	で知的体験を重ね成長していく。子どもの指導「環境」で					
授業目	目的	保育内容「環境」の 場面を想定して保育	ねらい及び内容り 育を構想する方法	こついて ^理 を身に付	U解を ける。	深めるとともん	こ、乳幼児の発達に	即して、具体的な指導		
授業 E (ラーニ アウトカ	ング		て、こどもの成長を	発達を促す	-最適	な「環境」を、	提供することができ	育室等も、全て「環境」 る実践力、そして保育		
授業棚	既要	た「物的環境」「人的じめ思考力・創造力	り環境」「自然環境」・想像力等を学ん が環境と関わりなっ	意」「社会環 しでいく。 がら好奇心	環境」の 本授 、探ス	り中で生きて「 業では、領域	いる。様々な生活経 「環境」の意義と目的	認定こども園であり、ま 験を通し人格形成をは りについて理解し、環境 ぶら成長・発達していく		
		担	受業内容				授業内容	:		
	1	ガイダンス · 保育者の資質とは 保育者に必要なもの あなたを取り巻く環境			19					
	2	環境とは(1) 環境とい	う言葉、環境の定義		20					
	3 環境とは(2)環境を通して行う保育の意味			₹	21					
	4 保育の基本と領域「環境」の位置づけ (1)ねらいとり			はいと内容	22					
	5	保育の基本と領域「環境 意点と指導計画、評価の		着導上の留	23					
	6	身近な「環境」の構成(指導案の構成と作成)								
	7	子どもと人的環境との関わり(保育者・友だち・家族域の人々)			25					
授	8	子どもと物的環境との関わり(遊具・園具・文字・数量)			26					
業計	9	子どもの自然環境との関わり(身近な自然・生きなわり)			27					
画 表	10	子どもと空間とのかかわ	り(室内あそび、保育	形態)	28					
	11	子どもの空間とのかかれ	oり(屋外遊び、保育用	彡態)	29					
	12	行事や地域環境との関	わり・園外保育		30					
	13	保育における環境の重 (3) 思考力の芽生え	要性 (1)好奇心 (2	2)探求心	31					
	14	子どもと環境 ・ 標識と	:図形、ものの性質との	出会い	32					
	15	指導上の留意点・環境 環境 · 安全管理 ·		もの安全	33					
	16	子どもの遊びの世界に 題	おける「3間」の意味と	保育の課	34					
	17	環境保護の大切さ(連鎖	鎖・循環・つながり・相	互関係)	35					
	18	保育者の役割 環境構	成実際の保育室	デザイン	36					
		テスト		40%	学	習FB方法	前期•後期 成績表			
成績害	削合	学習態度•出席率	<u> </u>	30%						
		レポート		30%	万	 找績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~ 89 B70~79点 C60~69点 D59点			
D/D/A/6				100%	09/	∧ // → / k /b/ - ≥ -bn	以下は不合格 型学習 > 20% C // 流	: 从休咸刑学羽№100/		
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》20% A《主体的参加型: 講師プロフィール 講義形式を基本とする。保育者になる立場として、子育で家庭への支援方し、支援する精神を理解できることを望む。担当教員は都内の保育園にて関盟している。保育園と保育者そして保護者の現状を熟知している講師が担				て園長を務め、現在もん	持つ悩みを、ともに共有					

		Т		シフ						
科目名	名	音楽指導実技]		担	当	者名	西川 美岐			
学 科	+	こども学科こどもス	スポーツコース	ł	受業ス	方法	演習			
認定單開講学		2単位 1学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	72時間		
授業目	目的		を修得し、1年間 <i>0</i> 歌いを修得する。		:の子	子どもの歌や				
授業目 (ラーニ アウトカム	ング		を修得し、教育実 次の弾き歌いがで		現場	での実践に	対応できるよう			
授業概			次の弾き歌いを身	手単音伴奏、コード伴奏)をすることができ、 につける。						
			授業内容				授業内容	<u> </u>		
	1	オリエンテーション 英語音名、伴奏法(単	皇音伴奏、コード譜)説明	月	19	19 お辞儀のコード 季節の歌 9月 とんぼのめがね				
	2	季節の歌 4月 チューリップ			20	秋の歌 どん 19の復習	ぐりころころ			
	3 季節の歌 4月 ちょうちょ 2の復習				21	秋の歌 大きな 20の復習	栗の木の下で			
	4	季節の歌 4月 ぶん 春の歌の復習			22	秋の歌 こぎつ 21の復習	ね(プリント)			
	5	季節の歌 5月 こい 4の復習	りぼり		23	秋の歌 虫の声 22の復習	「(プリント)			
	6	季節の歌 めだかの学校 5の復習			24	後期小テスト1				
	7	季節の歌 6月 かたつむり 6の復習			25	季節の歌 10月	きのこ			
授	8	小テスト1			26	季節の歌 10月 焼き芋グーチー				
業計画	9	かえるのうた			27	季節の歌 11月 まつぼっくり 25の復習				
表	10	かえるのうた(ピアノで	輪唱)		28	季節の歌 11月 まつぼっくり 27の復習				
	11	むすんでひらいて 10の復習			29	季節の歌 11月 28の復習	たき火			
	12	とけいのうた 11の復習			30	季節の歌 12月 29の復習	あわてんぼうのサンタ	クロース		
	13	季節の歌 6月 ある 12の復習	うふりくまのこ		31	季節の歌 12月] ジングルベル			
	14	アイアイ 13の復習			32	季節の歌 1月	お正月			
	15	季節の歌 7月 たな14の復習	ずたさま		33	コンコンクシャン	の歌			
	16	季節の歌 キラキラ星 15の復習			34	季節の歌 2月	まめまき			
	17	季節の歌 おばけなん 16の復習	してないさ		35	季節の歌 ゆき				
	18	小テスト2			36	小テストとまとめ)			
		テスト		40%	محد	ZZ CD +V+.	↓	両を併用して分と		
比维中		学習態度・出席	率	60%	子	習FB方法	teamsのファイル動車	四も併用して子み。		
成績害	刊合	レポート		0%		长⁄李亚/m				
		合計		100%	万	找績評価	□涌≄80%以上、1	受業態度を重視する。		
P/R/A/C	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	!学習≫60	A≪∄	体的参加型学	習≫80 G≪海外体感	型学習≫60		
講師プロ 音大卒業後、海外の音大に留学をして、音楽教育を学びリトミック指導の資格を取得し フィール 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。										

				シラ	バ	ス			
科目名	名	こどもの指導法	「リズム表現」	担	1.当 ==	者名	西川 美岐		
学和	+	こども学科こどもス	スポーツコース	ł	受業ス	方法	演習		
認定単開講学		1単位 1学年	開講期 必・選	選択			授業時間数	36時間	
授業目				な知識や	技術を	を表現「領域	」 ごから見出し保育打	I 旨導法を修得してい	
授業 F (ラーニ アウトカ	ング	表現に関する知	識や保育技術の	習得と実	践を认	通した人間力	刀の育成を目指す。		
授業概	既要		Y容を主軸とし、子 ついての理論と9			表現につい	、 てその意義、効果	的な指導法、使用教	
			授業内容				授業内容		
	1	領域「表現」についての基本的な考え方とリトミックについての説明			19				
	2	ダルクローズ、オルフ	、創造的音楽つくりにつ	ついて	20				
	3		る、回る、走るなどの身体		21				
	4	基礎リズム2 リズムパターンの理解とそれに伴う身体表現							
	5	基本動作1 基本動作の実践 基本動作2 基本動作の復習と幼児のイメージを豊かに			23				
	6	する指導法			24				
	7	童謡やわらべうたについての多様な振り付けの実践1			25				
授 業	8	童謡やわらべ歌についての多様な振り付けの実践2			26				
計画	9	英語の子どもの歌の振り付けと実践			27				
表	10	楽器の取り扱いとオリ	ジナル楽器の製作		28				
	11	オノマトペについての	身体表現の実践		29				
	12	ボディーパーカッシ	ョンについての実践		30				
	13	ボディーパーカッショ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	31				
	14	ての模擬保育の実践		欠切パニ゚ フレ `	32				
		クリスマスソングに合え 絵本のストーリーを取	つせて身体表現 リ入れた身体表現の実	践幼児が持	33				
	16	つ表現への意	意欲と喜びを育むリズ		34				
		介と創作	極保育の実践と振り返 「機保育の実践と振り返		35				
	18		※灰体 月 ツ 天 政 と 依 り 返		36				
		学習態度・出席	 率	30パーセント	学	習FB方法	前期・後期 成績表	送付	
成績害	自合	レポート		20パーセント	F			基本とする。グループ 合わせて判断する。 合	
	合計 100					AUSCH I IIII	格は60点以上。	7 H 42 € € 1318/1 7 9/0 □	
P/R/A/O	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	世学習≫60	A≪∄	体的参加型学	習≫80 G≪海外体感	型学習≫60	
講師プロ 音大卒業後、海外の音大に留学をしりトミック指導の資格を取得している。 フィール 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。									

	シラバス									
科目	名	こども家庭福祉		担	当	者名	津村 恵子			
学科	ŀ	こども学科こどもス	スポーツコース	ł	受業ス	方法	講義			
認定單		2単位	開講期	後期			授業時間数	36時間		
開講学	华年	1学年	必・選	選択						
授業目	目的	保育士として必	要な「こども家庭福	番祉」に関	するタ	知識を学び	、考察力を養う			
授業目 (ラーニ アウトカ.	ング	割、制度や関係	ける子どもを取り巻 機関の実施体制し 反庭福祉の現状と記	について	学習~	する。	もの人権、こども家	庭福祉の意義、役		
授業概	既要						を用いた個人ワーク 育士の視点から考察	ク及びディスカッション 客していく.		
			授業内容		授業内容					
	1	現代社会における子	どもを取り巻く社会状況	①	19					
	2	2 現代社会における子どもを取り巻く社会状況②			20					
	3 こども家庭福祉の理念①				21					
	4 こども家庭福祉の理念②				22					
	5	子どもの権利 人権扱	権護と課題		23					
	6	レポート作成の手引き								
	7	レポート指導			25					
授	8	こども家庭福祉の制度	度と実施体制		26					
業計	9	児童福祉に関する機	関と専門職		27					
画 表	10	児童福祉施設と専門	職		28					
	11	こどもの虐待について	5		29					
	12	障がいのある子どもへ	への対応		30					
	13	少年非行などへの対	応		31					
	14	社会的養護			32					
	15	貧困家庭、ひとり親家	民庭など、様々な家庭への	の対応	33					
	16	母子保健と子どもの優	建全育成		34					
	17	多様な保育ニーズ 地域の子育で支援			35					
	18	科目試験			36					
		テスト		40%	学	習FB方法	授業内に振り返り時と、質問事項などを	計制を設け、学習したこ 記入し提出		
成績害	削合	学習態度・出席	率	30%	7*	D. 5/1/12	次授業時に、必要に			
/-/V/15K I	7 🗖	レポート		30%	成績評価		出席率80%以上 S90-100点 A80-89点 B70-79点 C			
		合計		100%			60-69点 D59点以	下は不合格		
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》50% G《海外体感型学習》 講師プロフィール					感型学習≫					

				シラバス								
科目名	名	社会福祉論		担	当	者名	津村 恵子					
学 科	ł	こども学科こども	スポーツコース	ł	受業ス	方法	講義					
認定單	 位	2単位	開講期	前期			授業時間数	36時間				
開講学	华年	1学年	必・選	選択			及未刊目录 50時間					
授業目	目的	保育士として必	要な社会福祉に関	員する知 語	哉を学	び、考察力	を養う					
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	現代社会におり法等について学		義•役割を	2理解	乳、子どもと	その家庭を支援す	てる視点から、制度・方				
授業棚	既要	基本的知識を請 日的課題につい		具体的事	例を月	用いたワーク	7及びディスカッショ	コンを通し、福祉の今				
			授業内容				授業内容	3				
	1	社会福祉とは ~身i	丘な問題から福祉を考え	さる	19							
	2 社会福祉の理念・基本的人権				20							
3 日本における貧困問題(子どもの貧困)①				21								
	4 日本における貧困問題(子どもの貧困)②				22							
	5 社会福祉の相談援助(ソーシャルワーク①			23								
	6	社会福祉の相談援助	1(ソーシャルワーク)②		24							
	7	レポート作成の手引き	ķ(I)		25							
授	8	レポート作成の手引き②			26							
業計	9	レポート指導			27							
画表	10	障害者福祉			28							
	11	共生社会とインクルー	-シヴ保育		29							
	12	女性の社会参加につ	いて 現状と課題		30							
	13	高齢者福祉			31							
	14	社会福祉における利	用者保護に関わる仕組	み	32							
	15	子どもの人権			33							
	16	社会福祉の専門職			34							
	17	社会福祉の動向と課	題		35							
	18	科目試験			36							
		テスト		40%	学	習FB方法	授業内に振り返り時間 問事項などを記入し提	引を設け、学習したこと、質 是出				
成績害	自合	学習態度•出席	率	30%			次授業時に必要内容をクラスで共有する					
		レポート		30%	成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点					
	-1-1-6	合計		100%			C60~69点 D59/					
P/R/A/C 講師ご フィー	プロ						習≫50% G≪海外体原 でいる。	数型子首≫				

	シラバス									
科目名	名	音楽表現論		担	当	者名	西川 美岐			
学 承	4	こども学科こどもス	スポーツコース	ž	受業ス	方法	演習			
認定単	单位	1単位	開講期	前期			授業時間数	36時間		
開講学	学年	1学年	必・選	選択			及 木 州 南 <u></u>	100mg (H)		
授業目	目的	感性と表現に関	する領域「表現」を	を学び専門	門的夠	印識を身につ	つける。			
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	音楽表現指導は	二関する専門的知	識、環境	構成	を学び、また	レポート作成を完成	成する。		
授業概	既要						な感性や表現する 終知識を身につける			
			授業内容				授業内容	7		
	1	音楽表現論をとおして	て学ぶこと 科目ガイダン	 /ス	19					
	2 領域「表現」の理解と音楽表現における乳幼児の発達 程			児の発達過	20					
	3 音楽表現に必要な音楽要素の理解と乳幼児の発達に 伴う声域についての理解			の発達に	21					
	目然が生み出す音とはどういつものか?サウンドスケー 4 の採り入れ方、またそのイメージを表現するための音の				22					
	5	理解 音楽理論の基礎知識1(五線譜記譜法、音部記号、音 名)			23					
	6	音楽理論の基礎知識2(音符と休符、拍子とリズム)			24					
	7	レポート作成の手引き								
授	8	レポート指導			26					
業計	9	レポート指導			27					
画 表	10	レポート指導			28					
	11	1年間に行事や歌われ 代の歌についての分	れる幼児楽曲と童謡、お 析	らべ歌と現	29					
	12	日本の童謡、子どもの)歌の時代に視点をおい	た分析	30					
	13	音楽理論の基礎知識	3(音程、調、和音、コー	-ドネーム)	31					
	14	音楽理論の基礎知識	は(速度記号と標語のま	とめ)	32					
	15	リズムと拍子 拍、の領	実践		33					
	16	保育実践における豊 あり方	かな表現を引き出すたと	めの援助の	34					
	17	科目試験対策			35					
	18	科目試験対策			36					
		テスト		40%	学	習FB方法		ァイルも補足で共用。五 書いて音楽理論の基礎		
成績害	割合	学習態度•出席	率	30%	于	日口刀伍	無概は、五線から 知識を身につける。	ョヾ、(日本任喘り 左焼		
/火/!! 口		レポート		30%	万	 找績評価		/ポート課題、科目試験		
	合計			100%			の合格は60点以上			
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	!学習≫60	A≪Ì	体的参加型学	習≫80 G≪海外体感	型学習≫60		
講師フィー		音大卒業後、海外の ク指導を行っている		音楽教育を	と学び	、リトミック指導	の資格を取得して日本	てでも、ピアノ指導、リトミッ		

	シラバス								
科目名	名	こどもの指導法	環境」	担	当	者名	國分 啓子		
学 科	ŀ	こども学科大学コ	ース	ł	受業ス	方法	演習		
認定単	 	1単位	開講期				授業時間数	36時間	
開講学	华年	2学年		選択					
授業目	目的	保育内容「環境」 場面を想定して係	のねらい及び内容り R育を構想する方法	こついて ^理 を身に付	里解を ける。	深めるとともり	こ、乳幼児の発達に	らの指導「環境」では、 即して、具体的な指導	
授業目 (ラーニ アウトカム	ング	である。保育者と		発達を促す	一最適	[な「環境」を、	提供することができ	育室等も、全て「環境」 る実践力、そして保育	
授業概	既要	た「物的環境」「人 じめ思考力・創造 による保育、こども	、的環境」「自然環境 力・想像力等を学 <i>A</i>	着」「社会環 しでいく。 がら好奇心	環境」の 本授 、探	の中で生きて 業では、領域	いる。様々な生活経 「環境」の意義と目的	認定こども園であり、ま 験を通し人格形成をは りについて理解し、環境 ぶら成長・発達していく	
		授業内容					授業内容	\$	
	1	ガイダンス · 保育者 あなたを取り巻く環境	か資質とは 保育者に	必要なもの	19				
	2	環境とは(1) 環境と	いう言葉、環境の定義		20				
	3 環境とは(2)環境を通して行う保育の意味		÷	21					
	4 保育の基本と領域「環境		環境」の位置づけ (1) ね	はいと内容	22				
	5	保育の基本と領域「環境」の位置づけ (2)指導上の 意点と指導計画、評価の考え方		着導上の留	23				
	6	身近な「環境」の構成(指導案の構成と作成)			24				
	7	子どもと人的環境との関わり(保育者・友だち・家族 域の人々)			25				
授	8	子どもと物的環境との関わり(遊具・園具・文字・数量			26				
業計	9	子どもの自然環境との関わり(身近な自然・生きやわり)			27				
画表	10	子どもと空間とのかか	わり(室内あそび、保育	形態)	28				
	11	子どもの空間とのかか	かり(屋外遊び、保育形	彡態)	29				
	12	行事や地域環境との	関わり・園外保育		30				
	13	保育における環境の (3) 思考力の芽生え	重要性 (1)好奇心 (2 	2)探求心	31				
	14	子どもと環境 ・ 標識	&と図形、ものの性質との	出会い	32				
	15	指導上の留意点・環境 環境 ・ 安全管理	竟構成の在り方 ・ 子と ・ 小学校との連携	もの安全	33				
	16	子どもの遊びの世界! 題	こおける「3間」の意味と	保育の課	34				
	17	環境保護の大切さ(運	車鎖・循環・つながり・相	互関係)	35				
	18	保育者の役割 環境	構成 実際の保育室 ラ	デザイン	36				
		テスト		40%	学	習FB方法	前期•後期 成績表		
成績害	自合	学習態度•出席	率	30%			山麻漆000/1911	200 - 100 ± 400	
		レポート		30%	E	战績評価	89 B70~79点	S90~100点 A80~ C60~69点 D59点	
D /2 / : :	合計			100%	20/	A # 2 11.11 15 1	以下は不合格	- H 11-12-11-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-1	
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》20% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学講師プロ				持つ悩みを、ともに共有					

	シラバス								
科目	名	こどもの指導法	「人間関係」	担	. 当	者名	國分 啓子		
学 科	4	こども学科大学コ	ース	ŧ	受業	方法	演習		
認定單	单位	1単位	開講期				授業時間数	36時間	
開講学	学年	1学年		選択					
授業目	目的	「幼稚園教育要領 係」と他領域の関	頁」「保育所保育指金 連性を説明し、事例	†」「幼保連 前に学びな	連携型	!認定こども園 総合的に保育	教育・保育要領」 ずを捉える力の習得		
授業 ドラーニ アウトカ	ング	ションが頻繁になかな人間関係を修で「人間」になって生活をしていくこ	されるようになった。 築いていく基盤が失 ていく。こどもたちが、 とに喜びや充実感を	反面,かつわれつつる人的、物的 と感じるたる	oて家 ある。 り環境 めに、	をや地域社 「ヒト」は人と」 こにかかわり、 保育者の適	会にあった対面で 人との豊かなかかれ 主体的に活動する 刃な援助方法や「ノ	た多様なコミュニケー の相互交流をとおした豊 っりをもてるようになること ことや互いに支え合って し間関係」についての基	
授業概	既要	ども園教育・保育 とおした人間関係 の様な関係性を勢	要領」における領域 系の発達について実 築いていくのか、こと	「人間関係 践のエピン も一養育	系」の ソード	ねらいや内容 を取り上げ解	ドの理解を深めると !説していく。 また	頁」、「幼保連携型認定こともに、様々なかかわりを ともに、様々なかかわりを 、保育者としてこどもとど ず、さらには保育者―保	
		育者といり様々な	関係について考察 授業内容	して行く。		授業内容			
	1	/石林『 田田/5・51-			10			н	
	1 2	保育の基本と人との関	らいと内容・内容の取扱 関わり ・ 人との関わりを		19				
	3 保育の基本と人との関わり・基本的な信頼関係と 環境			関係と人的	21				
	4	乳幼児期における人との関わりの発達 · 保育者の役割と援助①			22				
	5		との関わりの発達 ・ 乳	児期の発	23				
	6		の関わりの発達 ・ 幼児	期の発達と	24				
	7	遊びの中で育つ人との関わり・ 人との関わりと遊び			25				
授	8	遊びの中で育つ人との関わり ・ 遊びの中での人間係			26				
業計画	9	遊びの中で育つ人との関わり・10の姿に育ってゆく過程			27				
画 表	10	遊びの中で育つ人との関わり・保育者の役割と援助②			28				
	11	助③	保育の実践 ・ 保育者		29				
	12	もたち/人と関わる力/			30				
	13	者/援助者としての保			31				
	14	援助④	子どもの支援 ・ 保育		32				
	15	しい子を支援する/さ			33				
	16	と援助⑤	舌と人との関わり・ 保育		34				
	17	園、家庭、地域の生活 人との関わり	舌と人との関わり・ 子と	もの生活と	35				
	18		との交流を導く保育計画 計画を含む指導案、模類		36				
		テスト		40%	学	·習FB方法	前期・後期 成績	表送付 表送付	
成績害	訓合	学習態度・出席	率	30%	7	DI DATA	177771 区7791 月入月	ACI.	
八八月百	10 🗆	レポート		30%			出席率80%以上 S90~100点 A80~		
		合計		100%	成績評価 89 B70~79点 C60~69点 D59点 以下は不合格				
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》60% R《実働実践型学習》20% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》				海外体感型学習》					
講師コフィー		講義形式を基本とする。保育者になる立場として、子育で家庭への支援方法や、多くの過程が持つ悩みを、ともに共有し、支援する精神を理解できることを望む。担当教員は都内の保育園にて園長を務め、現在も保育園の相談役として活躍している。保育園と保育者そして保護者の現状を熟知している講師が担当している。							

	シラバス									
科目	名	こどもの指導法「	リズム表現」	担	当者	者名	西川 美岐			
学科	+	こども学科大学コ	ース	ž	受業プ	方法	演習			
認定單開講等		1単位 1学年	開講期	選択			授業時間数	36時間		
授業目				な知識や技	技術を	を表現「領域	」 ごから見出し保育打	旨導法を修得してい		
授業目 (ラーニ アウトカ・	ング	表現に関する知	識や保育技術の	習得と実活	銭をi	通した人間力	刀の育成を目指す。			
授業棚			7容を主軸とし、子 ついての理論と実			表現につい	、 でその意義、効果	的な指導法、使用教		
			授業内容				授業内容	:		
	1	領域「表現」について いての説明	の基本的な考え方とリト	ミックにつ	19					
	2 ダルクローズ、オルフ、創造的音楽つくりについて			かいて	20					
	3 基礎リズム1歩く、止まる、回る、走るなどの身体表現				21					
	4	基礎リズム2 リズムパターンの理解とそれに伴う身体表現			22					
	5	基本動作1 基本動作の実践 基本動作2 基本動作の復習と幼児のイメージを豊かに			23					
	6	する指導法			24					
-	7	重語やわらべ歌についての多様な振り付けの実践2								
授業	9	単語でわらい歌についての多様な振り刊りの美政2 英語の子どもの歌の振り付けと実践			26 27					
計画表	_	英語の子どもの歌の振り付けと実践 楽器の取り扱いとオリジナル楽器の製作			28					
10	-	オノマトペについての			29					
	12	ボディーパーカッシ	ョンについての実践		30					
	13	ボディーパーカッショ	ンについての実践		31					
	14	表現する力を育てるたての模擬保育の実践	上めの保育者の役割と扱	受助につい	32					
	15	クリスマスソングに合わ	つせて身体表現		33					
	16	絵本のストーリーを取 つ表現への意	り入れた身体表現の実	践幼児が持	34					
	17	幼児が持つ表現への 介と創作	意欲と喜びを育むリズム	ム遊びの紹	35					
	18	リズム遊びを用いた模	接保育の実践と振り返	ŋ	36					
		テスト		30%	学	習FB方法	前期・後期 成績表	送付		
成績害	削合	学習態度・出席	率	50%						
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		レポート 20% 合計 100%			成績評価		出席率80%以上を基本とする。グルーフワークの参加状況も合わせて判断する。			
					Δ // →	(休的秦加利帝)	格は60点以上。	刊学習≫60		
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》80 R《実働実践型学習》60 A《主体的参加型学習》80 G《海外体感型学習》60 講師プロ 音大卒業後、海外の音大に留学をしりトミック指導の資格を取得している。 日本でも、ピアノ指導、リトミック指導を行っている。					E 1 E // 00					

	シラバス									
科目	名	表現I		担	出当	者名	平野 真由美			
学和	+	こども学科大学コ	ース	ł	受業プ	方法	演習			
認定單		1単位	開講期	後期			授業時間	数 36時間		
開講学	学年	1学年 ・手話の基本を ²	必・選	必選			22717			
授業目	目的	・聴覚障がいに /SDGs等々につ	ついて理解すると いても理解を深め	5る			社会的バリア/ニ	ユニバーサルデザイン		
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	聴覚障がいの。	よる自己紹介や日 基礎知識を学び理 こ目を向け、認識を	里解する)習得	<u></u>				
授業棚	既要	・聴覚障がいの	介や日常会話の 基礎知識・コミュニ スト講師との交流		得 ィン手段などの座学					
			授業内容				授業区	內容		
	1	●ガイダンス・導入●挨拶の手話表現・	受業で必須の手話単語		19					
	2 ●伝える工夫・コミュニケーション手段には ●手話の基本(指文字/数詞)			20						
	3 ●手話の基本(指文字/疑問詞) ●手話の基本(指文字/疑問詞を使った例文))	21						
	4	●自己紹介(名前/学 ●自己紹介(住所/代			22					
	5	●自己紹介(数詞の後 ●自己紹介(家族の表			23					
	6	●自己紹介(趣味の表 ●自己紹介(仕事の表			24					
	7	●自己紹介(総まとめ) ●読み取り練習(数詞/指文字)			25					
授	8	●疑問詞を使った応用例文(何/誰/どう) ●疑問詞を使った応用例文(いくつ/どちら/なぜ)								
業計	9	●時制(一日の生活) ●時制(一週間の生活)			27					
画表	10	●時制(一年の生活/ ●動画:読み取り練習	四季の単語) 3(色々なろう者の自己紹	紹介part1)	28					
	11		生生の一日の生活 (ろうう 解(バリアフリー/ユニバー		29					
	12	●動画:読み取り練習 ●X'mas Songを手話	習(色々なろう者の自己絹 で楽しもう	召介part2)	30					
	13	●これまでの総復習 ●時節の手話(お正月	月の単語) / 簡単な接遇	手話	31					
	14	●ろうゲスト授業事前●ろうゲスト講師との?			32					
	15	●聴覚障がいの特性●期末試験対策読み	:理解/先週の感想共有 み取り(指文字)		33					
	16	●期末試験対策 表と ●期末試験対策 読み	出例文 み取り(単語/語句/例文))	34					
	17	●期末試験 表出問題 ●期末試験 読み取り			35					
	18	●試験返却/振り返り ●後期授業の総復習			36					
		テスト		50%	学	習FB方法	前期•後期 战			
成績害	訓合	学習態度•出席	率	40%		日日万伝	前期・後期 成績表送付 			
沙人小只百	11 [レポート		10%	F	战績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:8	: :0 [~] 89点 B:70 [~] 79点		
合計 100%						AND HIT IIII		9点以下は不合格		
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫20% R≪実働実践	型学習≫40%	5 A≪	主体的参加型	学習≫40% G≪海	外体感型学習≫		
講師プロフィール 手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活様々な場面での手話通訳活動や手話指導経験を積みながら、日々研鑚している。 使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会 発行)										

	シラバス									
科目	——— 名	音楽表現論		担	当	者名	西川 美岐			
学 科	4	こども学科大学コ	ース	ł	受業ス	方法	演習			
認定單	単位	1単位	開講期	前期			授業時間数	36時間		
開講学	学年	1学年	必・選	選択			12 /K · 1 11 3/K	33. 1113		
授業目	目的	感性と表現に関	する領域「表現」を	を学び専門	明的组	印識を身につ	つける。			
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	音楽表現指導は	二関する専門的知	識、環境	構成	を学び、また	レポート作成を完成	成する。		
授業棚	既要						な感性や表現する 終知識を身につける			
			授業内容				授業内容			
	1	音楽表現論をとおして	て学ぶこと 科目ガイダン	/ス	19					
	2 領域「表現」の理解と音楽表現における乳幼児の発達 程			児の発達過	20					
	3 音楽表現に必要な音楽要素の理解と乳幼児の発達に 伴う声域についての理解			の発達に	21					
	目然が生み出す音とはどういうものか?サウンドスケー 4 の採り入れ方、またそのイメージを表現するための音の				22					
	5	理解 音楽理論の基礎知識1(五線譜記譜法、音部記号、音 名)			23					
	6	音楽理論の基礎知識2(音符と休符、拍子とリズム)			24					
	7	レポート作成の手引き								
授	8	レポート指導			26					
業計	9	レポート指導			27					
画表	10	レポート指導			28					
	11	1年間に行事や歌われ 代の歌についての分	れる幼児楽曲と童謡、お 析	らべ歌と現	29					
	12	日本の童謡、子どもの)歌の時代に視点をおい	た分析	30					
	13	音楽理論の基礎知識	は(音程、調、和音、コー	-ドネーム)	31					
	14	音楽理論の基礎知識	は(速度記号と標語のま	(とめ)	32					
	15	リズムと拍子 拍、の領	実践		33					
	16	保育実践における豊 あり方	かな表現を引き出すたと	めの援助の	34					
	17	科目試験対策			35					
	18	科目試験対策			36					
		テスト		40%	学	習FB方法		ァイルも補足で共用。五 言いて音楽理論の基礎		
成績害	割合	学習態度·出席	率	30%	7,		知識を身につける。	1、「日本生間り坐姫		
// 4/15		レポート		30%	万			ンポート課題、科目試験		
	合計			100%			の合格は60点以上			
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	!学習≫60	A≪Ì	体的参加型学	習≫80 G≪海外体感	型学習≫60		
講師コフィー		音大卒業後、海外の ク指導を行っている		音楽教育を	と学び	、リトミック指導	の資格を取得して日本	てでも、ピアノ指導、リトミッ		

	シラバス									
科目	名	音楽指導実技]		担	当	者名	西川 美岐			
学科	4	こども学科大学コ	ース	拉	受業プ	方法	演習			
認定單	単位	2単位	開講期				授業時間数	72時間		
開講学	学年	1学年	必・選	必選			及未刊的数	1 2() [H]		
授業目	目的		を修得し、1年間の 歌いを修得する。		:の子	どもの歌や				
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	ピアノ演奏技術 多くの子どもの	を修得し、教育実 次の弾き歌いがで	習や保育きる。	現場	での実践に	対応できるよう			
授業棚	各自レベルにあった伴奏付け(左手単音・ 多くの子どもの歌の弾き歌いを身につける 発表の場を、積極的に設ける。					コード伴奏)	をすることができ、			
			授業内容				授業内容	•		
	1	オリエンテーション 英語音名、伴奏法(単	 〔音伴奏、コード譜〕説り	—————— 归	19	お辞儀のコート	季節の歌 9月 とんぼのめがね			
	2	季節の歌 4月 チューリップ	1 на / ни	-	20	秋の歌 どん 19の復習	ぐりころころ			
	3 季節の歌 4月 ちょうちょ 2の復習				0.1	秋の歌 大きな 20の復習	栗の木の下で			
	200復智 4 季節の歌 4月 ぶんぶんぶん 春の歌の復習				22	秋の歌 こぎつ 21の復習	ね(プリント)			
	5	季節の歌 5月 こい 4の復習	Dぼり		22	秋の歌 中の志(プルム)				
	6	季節の歌 めだかの学校 5の復習			24	後期小テスト1				
	7	季節の歌 6月 かたつむり 6の復習			25	季節の歌 10月	きのこ			
授	8	小テスト1			26	季節の歌 10月 焼き芋グーチー	パー			
業計	9	かえるのうた				李節の歌 11月 まつぼっくり 25の復習				
画表	10	かえるのうた(ピアノで	輪唱)		28	季節の歌 11月 まつぼっくり 27の復習				
	11	むすんでひらいて 10の復習			29	季節の歌 11月 たき火 28の復習				
	12	とけいのうた 11の復習			30	季節の歌 12月 29の復習] あわてんぼうのサンタク	クロース		
	13	季節の歌 6月 ある 12の復習	うふりくまのこ		31	季節の歌 12月	ジングルベル			
	14	アイアイ 13の復習			32	季節の歌 1月	お正月			
	15	季節の歌 7月 たな 14の復習	ずたさま		33	コンコンクシャン				
	16	季節の歌 キラキラ星 15の復習			34	季節の歌 2月	まめまき			
	17	季節の歌 おばけなん 16の復習	してないさ		35	季節の歌 ゆき				
	18	小テスト2			36	小テストとまとめ)			
		テスト		40%	学	習FB方法	teamsのファイル動ii	画も併用して学ぶ		
成績害	訓合	学習態度・出席	率	60%	7	- D/J/A	teamsのファイル動画も併用して学ぶ。			
一个人们只日	. ,	レポート		0%	F	戈績評価	出席率80%以上、授業態度を重視する。			
	合計			100%	,	S S X H I IIII		スストの人で主かりる。		
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫80 R≪実働実践型	見学習≫60	A≪∄	体的参加型学	習≫80 G≪海外体感5	型学習≫60		
講師コフィー			の音大に留学をして、 尊、リトミック指導を行		学び	リトミック指導の	資格を取得し			